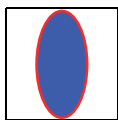
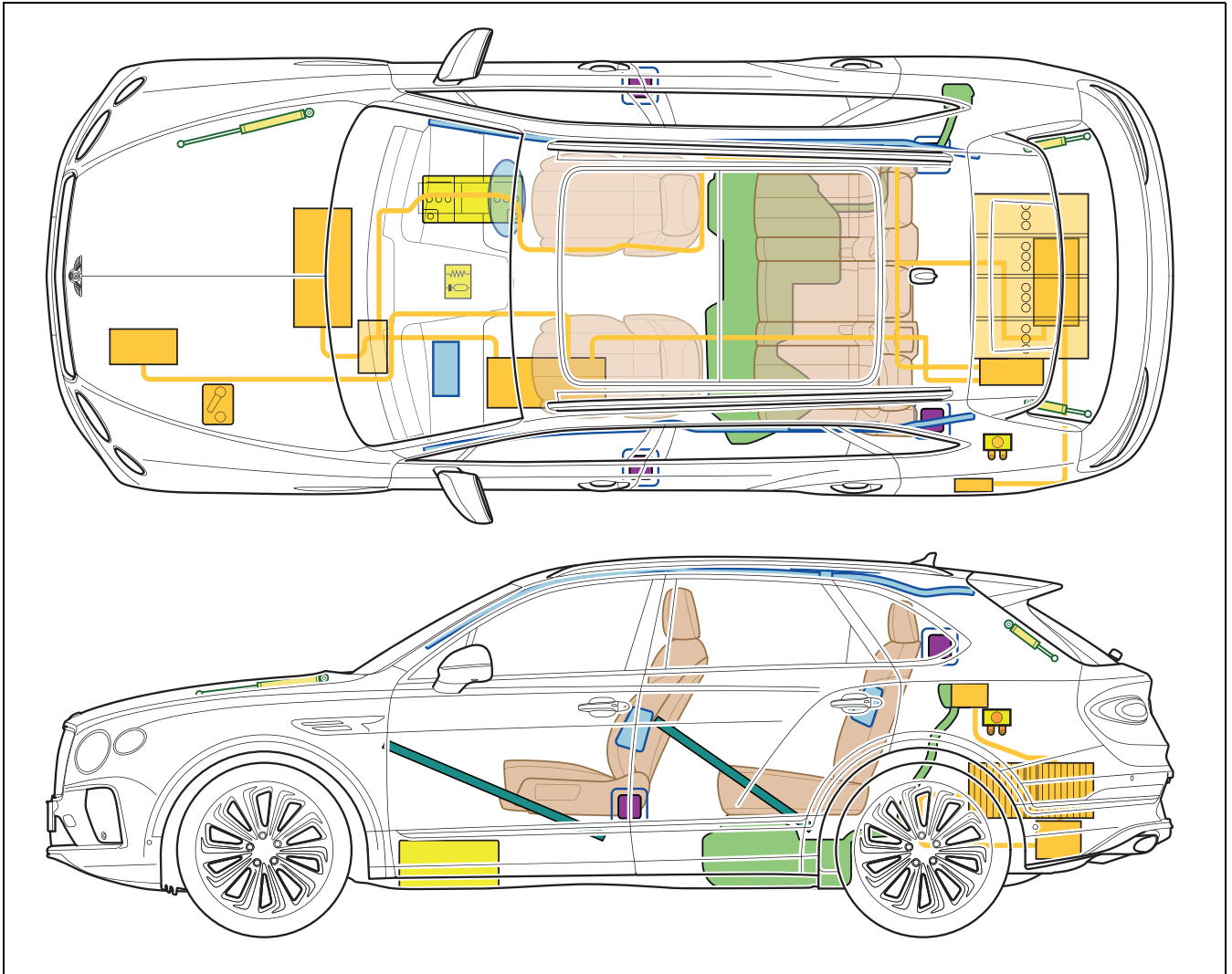




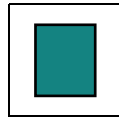
BENTLEY

Bentley Motors Limited
Bentayga ハイブリッド
SUV

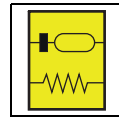
2021 年式以降



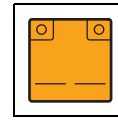
エアバッグ



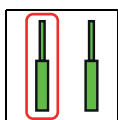
高強度ゾーン



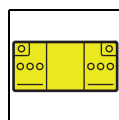
SRS コント
ロール ユ
ニット



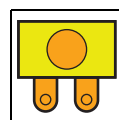
高電圧バッテ
リー パック



ガス スト
ラット/プリ
ロード スプ
リング



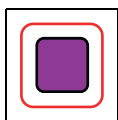
バッテリー低
電圧



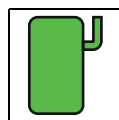
高電圧システ
ムを無効化す
るヒューズ
ボックス



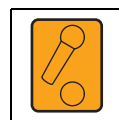
高電圧電源
ケーブル/構
成部品



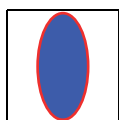
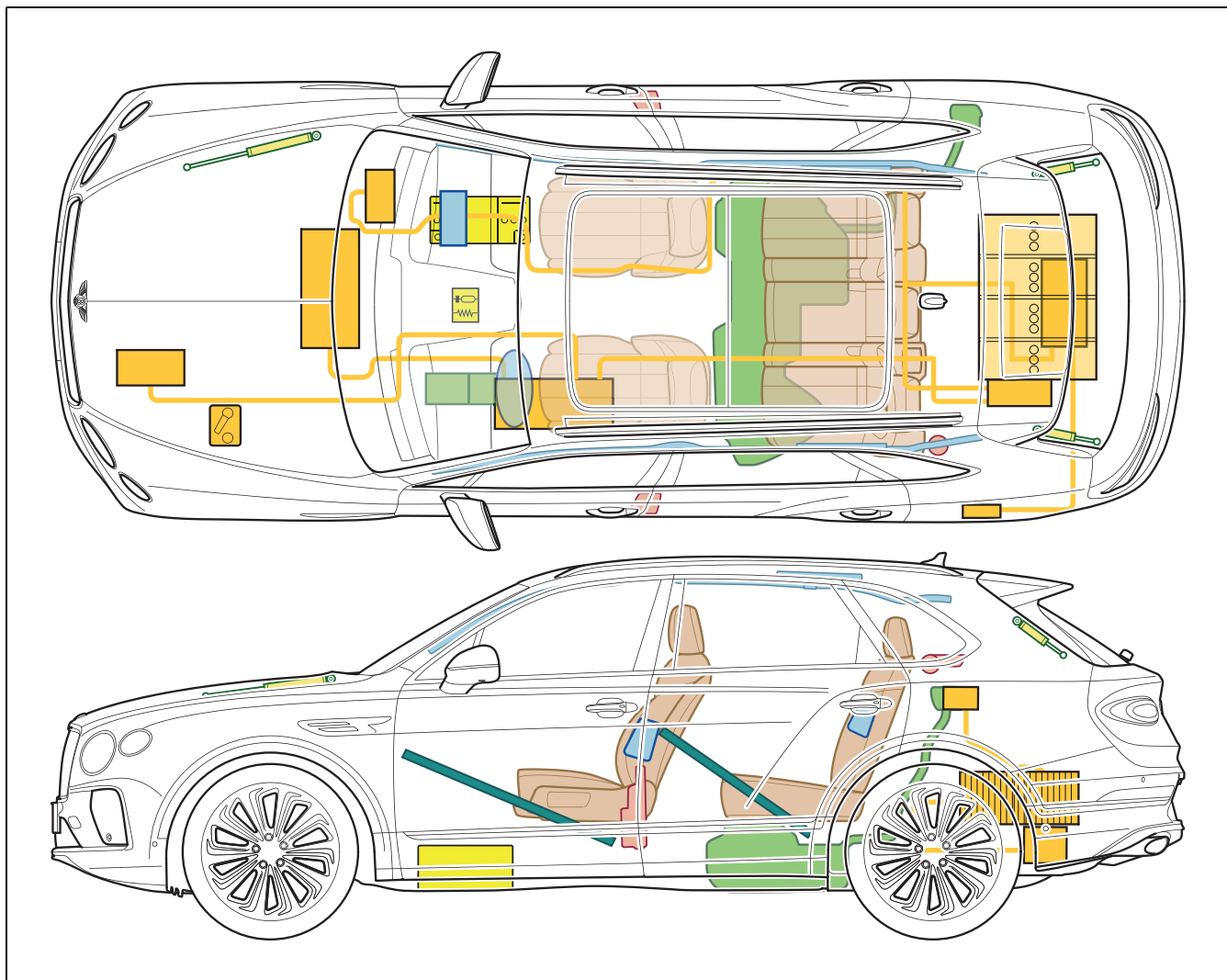
シートベルト
プリテンショ
ナー



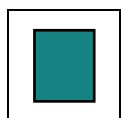
フューエル
タンク



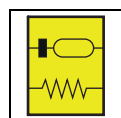
高電圧切断



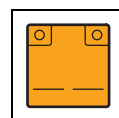
エアバッグ



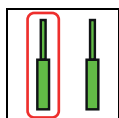
高強度ゾーン



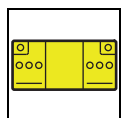
SRS コント
ロール ユ
ニット



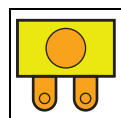
高電圧バッテ
リー パック



ガス スト
ラット/プリ
ロード スプ
リング



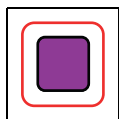
バッテリー低
電圧



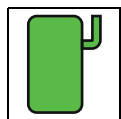
高電圧システ
ムを無効化す
るヒューズ
ボックス



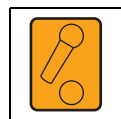
高電圧電源
ケーブル/構
成部品



シートベルト
プリテンショ
ナー



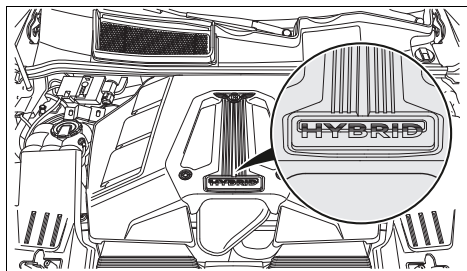
フューエル
タンク



高電圧切斷

車台番号

Bentayga ハイブリッドの識別機能 - 標準機器



エンジンフードの「ハイブリッド」バッジ



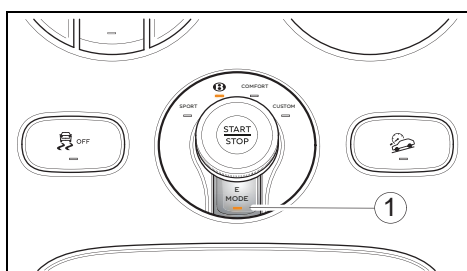
両側フロントドアの「ハイブリッド」バッジ



全てのトレッドプレートの「ハイブリッド」バッジ



機器クラスターの「EV DRIVE」(1)と高電圧バッテリーメーター(2)



エンジン スタート/停止ボタン横の「EV」モード表示灯(1)



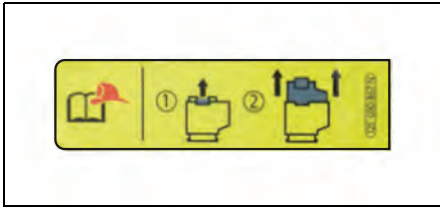
車両の左手裏にある充電ソケットのフタの裏の車両充電接続部

ハイブリッド構成部品のラベル

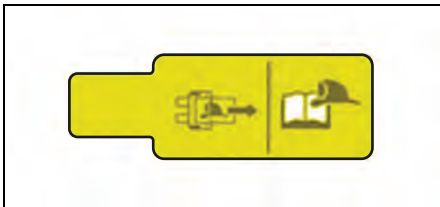
全ての高電圧構成部品と高電圧切断点は警告/情報ステッカーによりはっきりと標示されています。



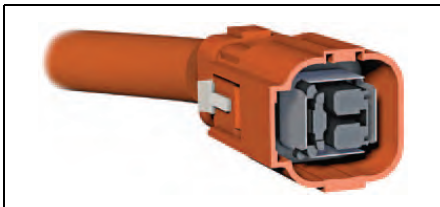
高電圧構成部品において



サービス切断において



ヒューズにおいて



全ての高電圧ケーブルにはオレンジ色の絶縁体がある

ハイブリッドシステムの安全情報

車載高電圧システムの損傷を受けていないプラグ、コネクタ、ケーブル、ソケットは安全に触ることができます。

⚠ 危険！ 不正な取り扱いによる感電による重傷ないし致死傷のリスク！

高電圧構成部品の不正な取り扱いによる致死傷の危険。

- 作動した高電圧構成部品には触らない。
- 車載高電圧システムのオレンジ色の高電圧ケーブルを損傷しない。
- 車載高電圧システムの電源を切った後も高電圧バッテリーに電圧が残っていることがある。高電圧バッテリーを損傷したり開かない。

パッシブ安全システムと高電圧システムの電源を切る場合

⚠ 警告！ 電動機は定置の場合無音です

電動機は定置の場合無音であるため車両を始動してもよいかは動作騒音から判断することができるとは限りません。

- エンジンの騒音が聞こえなくても車両を始動できることもあります。
- イグニッションがオフの場合、燃焼機関は高電圧バッテリーの充電レベルによっては自動始動可能です。

高電圧システムをオフにする場合

高電圧システムは、事故の場合エアバッグやシートベルト プリテンショナーが作動すると、自動的にオフになります。

高電圧システムがオフになっていることを確認するためには、アクセス性によっては、一次または二次緊急事態キーポイントからオフにする方法を優先します。

- 一次緊急事態キーポイント：イグニッションを「OFF」にし、エンジンルーム内の左前横にある12 Vサービスパラグ（ステッカーが貼られている）を抜く。
- 二次緊急事態キーポイント：イグニッションを「OFF」にし、トランク内の左手にあるヒューズボックスのヒューズ番号 4（ステッカーが貼られている）を引き抜く。

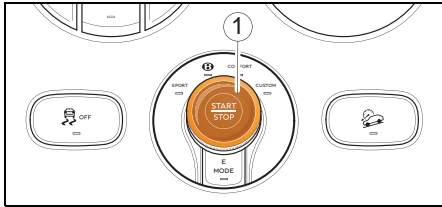
パッシブ安全システムをオフにする場合

パッシブ安全システム(エアバッグとシートベルト プリテンショナー)がオフになっていることを確認するためには:

1. パッセンジャーコンパートメントの12 Vバッテリーは切断してあること。12 Vバッテリーの切断後1分待つ。
2. 車載12 Vバッテリーに電気が来ないようにするため、高電圧システムは一次または二次緊急事態キーポイントからオフにする。

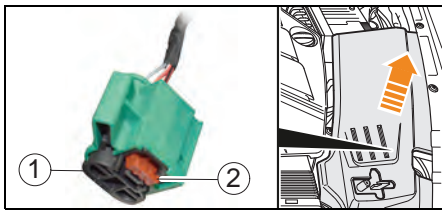
高電圧システムをオフにする場合

イグニッションをオフにする



ブレーキペダルを操作せずに、エンジン スタート/停止ボタン (1) を押してイグニッションをオフにする。

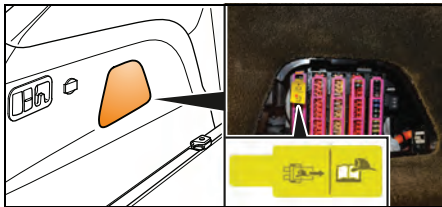
一次緊急事態キーポイント: エンジンルームの12 V サービスプラグを引き抜く



1. エンジンルームの左側のカバー (矢印) を取り外す。
2. リテーナー(2)を押すと戻るので、解除メカニズムを押し下げ、高電圧システム用メンテナンス コネクター(1)をストップまで引っ張り出す。

エアバッグとシートベルト プリテンショナー等のパッシブ安全システムには車載12 Vバッテリーからまだ給電されています。

二次緊急事態キーポイント: トランク内の左手にあるヒューズボックスからヒューズを引き抜く



1. トランクの左側のヒューズボードカバーを開く。
2. 保持フレーム(1)をヒューズブロックから取り外す。
3. ヒューズ番号4 (ステッカーが貼られている、インセット)を引き抜く。

エアバッグとシートベルト プリテンショナー等のパッシブ安全システムには車載12 Vバッテリーからまだ給電されています。

パッシブ安全システムをオフにする場合

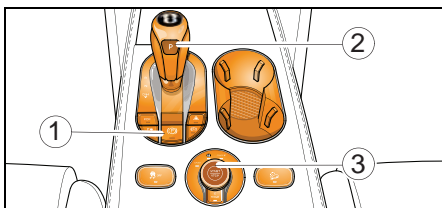
12 Vバッテリーの切断



ジャンプリード線が車両に接続されていないことを確認する。

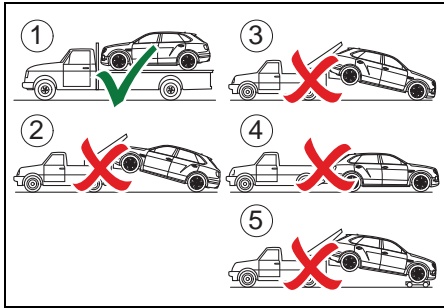
1. できれば右フロントシートをいちばん後ろにずらす。
2. 取り付けられていれば、カーペットカバーを取り外す。
3. フロント右フットウェルのカーペットカットアウト(1)を緩める。
4. 12 Vバッテリー (2)の負極ケーブルを切断し、不慮の接触を防止できりょうによける。

駐車する



1. ブレーキペダルを踏んで、車両を停止させる。
2. スイッチ(1)を引き上げパーキングブレーキを効かす。
3. セレクターレバー(2)のパーキングロックボタンを押してパーキングロックを作用させる。
4. スタート停止ボタン(3)を押してイグニッションをオフにする。

事故後の車両移動



事故があった場合、普通に運転できない状態であれば、車両の移動を依頼する。

⚠注意！

- 車両は1に示すように、全輪が路面から離れた状態で輸送する。
- 2、3、4、5の牽引方法は禁止です。
- 車両の牽引前に、ハザード警告灯をオンにし、車両のドアをすべてロックする。
- 牽引中乗車は禁止。

- 前側および後側に取り付けられたリカバリー フックは、けん引用フックではなく、専門のレッカー業者が固定式の牽引棒を使用して、緊急事態から車両を救出するために使用するものです。
- リカバリー フックは、できるだけ車両前部に取り付けてください（車両後部に取り付ける場合は、平坦な場所で、低速で、できる限り短時間利用する場合に限られる）。これを守らないと、リカバリー フックの取付箇所や周囲のボディー部品が損傷する場合があります。
- エンジンも電装も作動していない場合は、制動とステアリングシステムの補助を依頼することは可能です。したがって、制動距離を長めにとり、余裕をもって操舵してください。
- 必ず「パーキングからニュートラルへの緊急解除」を行ってから車両を回収してください。そうしないと、トランスミッション部品が損傷するおそれがあります。
- 車両を安全に移動可能である指示を受けた場合のみ事故現場から車両を移動する：高電圧バッテリーの変形やフルードの漏れ、発煙等があれば正しく処理します。

車両が完全または部分的に沈んだ場合

沈んだ車両は他の車両と同じように処置する。

車両ボディーは水中にあるがために感電リスクが高まることはありません。

⚠警告！沈んだ車両を取り扱う際は適切な個人用保護具を使用する。

「高電圧システムをオフにする場合」 on page 5 の説明に従い、車両を水中からだし、高電圧システムを通常の手順で無効にする。

消火

高電圧バッテリーにまで及ばないような小規模の車両発火であれば通常の方法を使用可能です。

加熱している場合、フルード容器あるいはガスタンク（ガストラット、エアバッグ、エアバッグインフレーター等）の爆発やBLEVE（沸騰液膨張気化爆発）の危険があります。危険区域に侵入する前に適正なノックダウンを実施してください。

高電圧バッテリーが高温度に暴露されたり、発火あるいは筐体が形態を問わず歪んだり、ひびや損傷を受けた場合、大量の水をかけてバッテリーを冷やす。十分な水が得られるようにする。

バッテリーの消火には24時間までかかる場合があります。バッテリーを放置燃焼させることも必要になる場合があります。この方法による場合、周囲の環境や乗員保護のための処置を講じる。発煙や蒸気の発生が認められればバッテリーの温度がまだ上がっています。

事故現場から去る前に、高電圧バッテリーが完全に冷めたことを熱画像機器で確認する。高電圧バッテリー温度は冷却したことが確認されてからも少なくとも1時間は監視し続ける。バッテリー温度が少なくとも一時間冷めたものとして確認されるまでは、警察や回収要因等の応答人員に車両に近づかせない。

応答人員に再イグニッションのリスクがあることを警告する。

高電圧バッテリーの完全性に支障が及んだ衝突事故が起きた場合、他の車両や建物、可燃物、可燃面から離して車両を進入禁止にした屋外駐車スペースに保管する。

事故による損傷の結果高電圧システムが外気に暴露された場合、耐候性シートで覆う。

⚠警告！

- 発火した場合、車両全体がエネルギー励起状態にあることを考慮し、車両のどの部品にも触らない。
- 自給式呼吸器等の個人用保護具一式を必ず使用する。